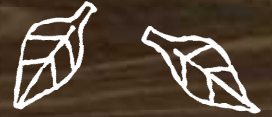
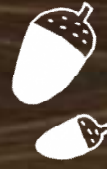


講座だより



【第6回講師 村上友和氏】

令和3年10月23日（土）に森林環境教育指導者養成講座の『養成コース第6回』を実施しました。今回は再び室内での座学を行いました。午前中は指導者として必要な「リスクマネジメント」についてWilderness Medical Associates Internationalの横堀勇氏から学びました。午後はより伝わるためのプログラムを構成するための実技講習として「プログラムデザイン」について、株式会社自然教育研究センターの村上友和氏から学びました。いずれも実践者である講師から、新たな視点や考え方を学ぶことができました。

【午前】安全管理「リスクマネジメント」

午前中はこれまでとは異なるテーマである「安全管理」について学びました。最初に講師の横堀氏からは「なぜ指導者は安全管理について知っておかなければいけないのか」について、過去の判例を元に指導者の責任について語られました。またプログラム中にはどんなリスクがあるのか付箋に書き表し、それを解決する実習などを通して受講者は自らが身に付けるべき安全管理の考え方があることを学びました。登山ガイドでもある講師の豊富な経験から語られる言葉に、受講者は真剣な眼差しで受講していました。



【講義と実習の様子】

【午後】実技講習②「プログラムデザイン」

【体験と実習の様子】



午後は、プログラムの構成である「プログラムデザイン」について学びました。最初に講師の村上氏によるムササビのプログラムを体験しました。短い時間でしたが、受講者の気づきや感動を引き出す効果的な構成になっており、どの受講者も講師の語り引き込まれていました。講師からはプログラムの流れの組み立てが重要であることや、その工夫で伝わる内容も大きく変わることが語られました。後半は前回の講座で企画をしたプログラムについて振り返り、より効果的な構成を考え直す実習を行いました。

＜発行元＞